

# 未来の変化に進化で応える 綜研化学グループ

総合力で挑む壮大な次代の価値創造フィールド



戦後復興への貢献を目指して始まった歴史  
中国・アジアへの事業展開、  
さらなる成長を目指した挑戦は続いていく

戦後間もない混乱の中、資源も資材も、設備も技術も、  
そして食料や日用品も不足する中、  
創業メンバーの8人は持てる英知を結集して、  
日本復興に貢献すべく立ち上がりました。  
資材をどう調達するか。  
「ないものは1からつくる」そうして技術や設備を一つずつ積み重ね、  
日本の産業や生活に必要なとされる製品を世に送りだしました。

1960年代の日本経済は、諸外国にも類を見ないほどの  
急速な経済成長を遂げていました。  
日本の多くの企業が国内産業の成長と発展に目を向ける中、  
当社は、いち早く中国における事業展開に向けた  
足がかりをつくり始めていました。

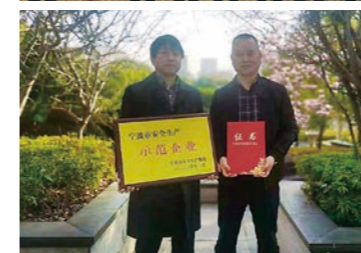
本格的に中国市場へ参入したのは1980年代。  
そこから15年近い年月の間に人や技術の交流を深め、  
1994年、ケミカルズ事業における最初の中国拠点となる  
「寧波綜研化学」を設立。事業拡大の契機となりました。

1990年代の日本は高度経済成長が過ぎ去り、バブル経済がはじけ、  
そこから長く続く景気後退の入口となる時代。  
しかし一方で、世の中は情報通信技術の進歩とともに、  
人々の暮らしや生活文化は高度化を遂げました。  
当社グループは、これら社会の発展に応えるために、  
グループの従業員一人ひとりの力を結集し、  
一丸となって市場や顧客のニーズに応じてきました。

現在では、これまでに蓄積した技術と創業の精神を受け継ぐ人材が、  
さらなる成長に向けて挑み続けています。

## 中国でも有数の会社に成長を 遂げた「寧波綜研化学」

中国浙江省寧波市に拠点を置く「寧波綜研化学」は、1万を超える工場の中で  
60拠点のみ認証されている「無廃棄物  
工場」であり、寧波市全体でもわずか  
31社しか認定されていない「革新的企  
業」です。また、2022年には、工場の  
安全管理体制が評価され、寧波市の  
「安全生産模範企業」として表彰を受け  
ました。



# 時代の変化に挑み、未来を切り拓く。 社会とともに進化し続ける グループを目指します

## 目指す姿は持続可能な社会の実現に貢献し、 社会の発展とともに成長し続けるグループ

現在の世界情勢は、大変動の只中にあります。

先が読めない不透明な時代。

戦後復興のために立ち上がった創業期、中国進出で躍進した成長期。

そして今、さらなる時代の変化へ挑むとき。

当社グループはビジョン実現に向けたファーストステップとなる

中期経営計画「Advance 2025」を策定しました。

その先に目指す姿は化石燃料に頼った生産活動から脱却し、

環境に貢献する“ものづくり”をすること。

解決しなくてはならない課題はたくさんあります。

しかし、その大きな課題解決に向け、グループの結束はさらに強固になっています。

中国・アジアから、さらなるグローバル化を見据えた事業展望、

新たな技術・製品開発、そして新規事業の創出に向かって、

私たちの挑戦は、始まっています。

## 未来につながる価値創造を目指して、 創業期から紡いだ絆で挑んでいく

綜研化学の「綜」は、“糸を束ねる”こと。

従業員の力を結集することで細い糸が太い縄となり、  
強く結束力のある企業を目指す。

創業者は「綜」にそんな想いを託しました。

現在までグループ全体で紡ぎ、結束させてきた太い糸。

その糸をさらに太く、強固な絆にしていく、  
次世代へとつないでいく。

創業時から変わらない想いが私たちの強さであり、  
新たな価値創造に挑む、私たちの原動力です。

